

ナンカンマチ

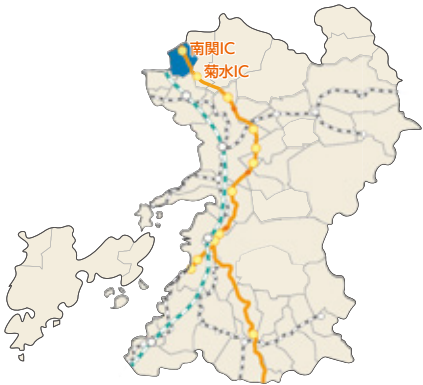
南関町

総人口…8,350人 男…3,998人 女…4,352人 世帯数…3,447世帯
〈人口構成比〉 15歳未満…10.2% 15～64歳…48.3% 65歳以上…41.4%
※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



佐藤 安彦 町長

本町にご縁のある企業の皆様、またはこれからご縁を結ばせて頂く皆様へ
町では新たに、『郷ごころ』を育てる“あそび”を軸にした多世代交流拠点プロジェクトに取り組めます。
このプロジェクトは、閉鎖した町有温泉施設を誰もが気軽に参加できる、開かれた場に改修し、ふるさととの町に目を向け、いつでも戻ってこられる気持ちになる郷ごころを育てるプロジェクトです。
本町の取組みに皆様のご支援とご協力をお願いします。



寄附御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額100万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄附額100万円以上)
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他(寄附企業様とご縁を大切にさせていただきます。)

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリ5 災害対策・防災

有害鳥獣への対策

町では、猪やタヌキ、アライグマ、アナグマなどの有害鳥獣の駆除や電気柵設置など農作物への被害を軽減するよう対策しています。また、有害鳥獣対策として災害対策とも関連性のある竹林整備にも取り組んでいます。



竹林整備



カテゴリ8 まちづくり

空き家・空き地の有効活用

少子高齢化と人口減少により、町内の空き家は増え続けています。空き家は相続や家財の処分などの問題を解決することが必要です。現状、空き家を有効活用するには本人が解決するしかない問題となっており、資産価値が減少していく家が殆どです。



放置された空き家

南関町まち・ひと・しごと創生推進計画

新たなチャレンジが出来る町

基本目標

1

地域資源を活かす産業と、魅力ある雇用を創出する

町の農産物や山林資源を活かした物産振興、地域に活力をもたらす企業誘致など、町に定住する人を確保する仕事づくりや魅力ある雇用の創出に取り組めます。

基本目標

2

人の流れを創り、各種人材育成に取り組む

福岡都市圏、熊本市との良好なアクセス環境を有しているという強みを活かし、人の流れを創ると共に社会教育・生涯学習の充実により各種人材育成に取り組めます。

基本目標

3

結婚・出産・子育ての希望を実現する

住みたく、住み続けたいまちづくりを目指した「住んでよかったプロジェクト」により、町で子育てをしたいと思えるような環境の充実に取り組めます。

基本目標

4

誇りを持ち元気に暮らし続けられる地域を創る

誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくりへの取り組みとして、元気づくりシステム南関モデルを推進し、生涯現役で活躍する健康長寿の地域づくりを行います。

重点プロジェクト

「郷ごころ」を育てる“あそび”を軸にした多世代交流拠点

〈SDGs〉関連するゴール

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

総事業費	70,000万円程度を想定	寄附目標額	—
数値目標	●社会移動 …………… ±0人 ●観光入込客数 …………… +180,000人		

うから館のあるエリアは、歩ける範囲に多様なまちの機能や魅力が点在しており、「歩いて楽しい」エリアとしてのポテンシャルを有している。また、うから館は「日常」、「歴史」、「自然」の3つの個性あるゾーンの接点にあり、南関町らしさを最も感じ、子どもの愛郷心を育むことのできる場所である。そこで、「まちの人の“顔”に出会える『歩きたくなる』まちのエリアビジョン」と、「郷ごころ」を育てる“あそび”を軸にした多世代交流拠点を実現する、うから館の活用・改修を行います。



南の関うから館活用ビジョン

寄附の具体的なメリット

活用ビジョンでは、うから館の中でも外でも様々なあそびが行われている様子が見てとれるかと思います。この光景を達成するためには皆様のご協力が必要です。図書や設備、利用し続けていくための活動の仕組みづくりまで、町の一大プロジェクトに関わっていただけませんか。

寄附申出書の事業名選択時は「町の指定するまち・ひと・しごと」を選択してください。

重点プロジェクト

子育て支援・移住定住支援

〈SDGs〉関連するゴール

3 すべての人に健康と福祉を

11 住み続けられるまちづくりを

総事業費	73,250万円	寄附目標額	—
数値目標	●社会移動 …………… ±0人 ●合計特殊出生率 …………… 1.8人		

全国に先駆け平成23年に子育て・定住対策としてスタートした「住んでよかったプロジェクト」により、減少の一途だった児童生徒数は一旦増加に転じましたが、少子・超高齢化による人口減少に歯止めをかけるためには新たな施策が必要です。

また、新型コロナウイルス感染症の流行など世界に社会的・経済的に大きな影響を与える出来事が発生し、町を取り巻く環境は大きく変化し続けています。

第3期プロジェクト(R3～)では時代の変化に対応し、持続可能なまちづくりのため、定住促進を柱とした様々な施策に取り組めます。



子どもたちの英語教育の写真

寄附の具体的なメリット

出産時から切れ目ない子育て支援を行うことで、子育てのしやすい町として全国に発信します。ご支援・ご協力いただける企業様の企業イメージの向上に繋がり、町と一緒に少子・超高齢化社会の課題解決に取り組むことができます。

寄附申出書の事業名選択時は「町民の結婚・出産・子育ての希望」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。